

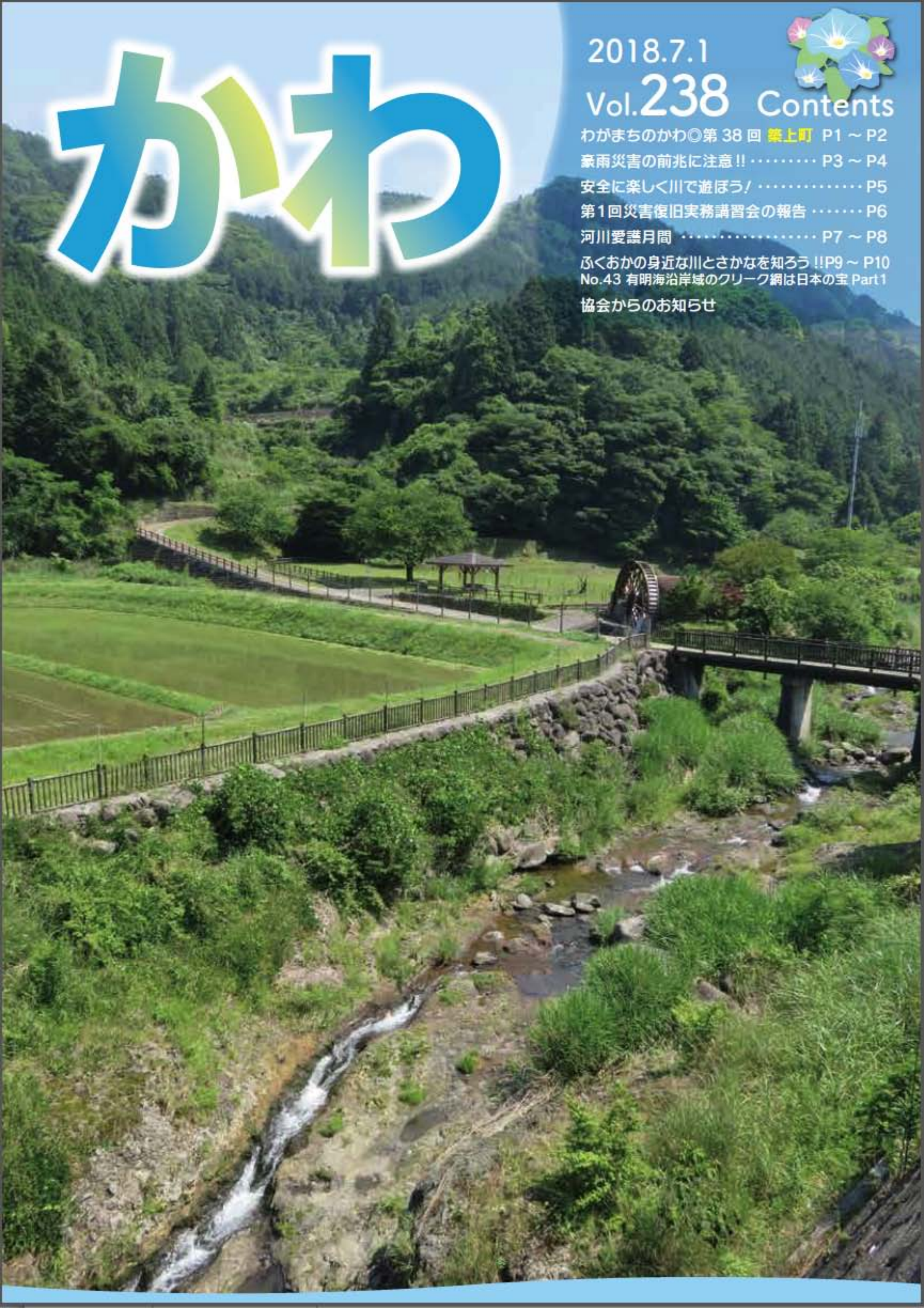
かわ

2018.7.1

Vol.238 Contents



わがまちのかわ◎第 38 回 築上町 P1 ~ P2
豪雨災害の前兆に注意!! P3 ~ P4
安全に楽しく川で遊ぼう! P5
第1回災害復旧実務講習会の報告 P6
河川愛護月間 P7 ~ P8
ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!! P9 ~ P10
No.43 有明海沿岸域のグリーン網は日本の宝 Part1
協会からのお知らせ



郷土ふるさと 福岡の河川を知る

わがまちの かわ

第 38 回

築上町



福岡県



■ 築上町の概要

築上町は、福岡県東部に位置し、北は行橋市、東は豊前市、西はみやこ町、南は大分県中津市山国町とそれぞれ接した人口18,515人(平成30年3月末)の町です。周防灘を臨む築上町は西の平尾台から大坂山、英彦山、犬ヶ岳、経読岳、雁股山、瓦岳、大平山まで連なる山々を背に、町の中央にそびえる国見山(標高637m)から細長い舌状丘陵が八手状に周防灘に向かって幾重にも伸びています。

そして西から音無川、城井川、小山田川、岩丸川、極楽寺川、真如寺川、上り松川、石堂川、上ノ河内川が流れ、その谷あいと下流域に集落が広がっています。

私の住んでいる地域にはドロブチ、はなぐり、いぼ神様、タテイワ、龍神等の地元独特の呼び名の川の淵があり、そこにはコイ、フナ、ハエ(ハヤ)、ドンコ、ナマズ、ドジョウ、ウナギ等の16種類ほどの小魚類とサワガニ、ツガニ(ケガニ)、ザリガニ、スッポン等が今は少なくなっていますが、住んでいます。それぞれの川には〇〇淵や地域独特の川遊び場が今もあり、川遊び(水泳・魚釣り・ヨボリ等)が行われています。川の上流では蛍が舞い初夏の夜を楽しんでいます。また河口付近には石積みのヤナ漁が行われ、ウナギやガザミ、シャコ、小魚を取っています。

浜の宮海岸は砂泥質の遠浅の海が広がり、春には潮干狩り、冬には牡蠣やワタリガニ(ガザミ)・シャコなど豊富な魚介類に恵まれています。海岸線には樹齢300年以上のクロマツ林が続き「福岡県の自然百選」「せとうち風景30選」にも選ばれています。

古代を語る巨樹「本庄の大楠」、菅原道真ゆかりの「綱敷天満宮」、中世宇都宮氏の山城と館跡や伝統芸能と祭り、歴史盛りだくさんの築上町へおいでください。



マキ ハル ジョウ
牧の原キャンプ場 (大小バンガロー
 あります)



少人数で楽しめる小型バンガロー(4~10人用)と、会社やサークル仲間など団体で楽しめる大型バンガロー(30・50人用)があり、様々な用途にご利用頂けます。
 キャンプ場のすぐ横には、城井川が流れており、釣りや川遊びを楽しむことができます。



キュウ クワ ウチ テイ
旧藏内邸 (田園風景の中の
 建物・庭園)



日本の近代産業を支えた筑豊の炭鉱。旧藏内邸は明治時代から昭和初期まで筑豊地方を中心に炭鉱や鉱山を経営し、大正8年には全国6位の産出高をほこった藏内次郎作、保房、次郎兵衛の三代の本家住宅です。隣接する貴船神社と鳥居、参道、石橋なども一体として建設され、田園風景の中に堂々とたたずむ建物・庭園ともに、当時の状況をよく残しています。

コシ カシワアン
古民家食庵 (風情ある古民家で
 お料理を！)



鎌倉時代から戦国時代にこの地を治めた宇都宮氏の重鎮である竹内家の古民家を改装し、平成29年3月にオープン。ここでは、地元産の米や食材を使った料理をお楽しみ頂けます。



フッパンカン
物産館 (築上町の
 野菜や物産品！)



築上町の野菜や物産品などを取り揃えている物産館。
 周囲には、広大な芝生広場・メタセコイヤの木々などがあり、お買い物はもちろん自然を感じる憩いの場としても人気です。



ツナ シキ テン マン グウ
網敷天満宮 (菅原道真に
 まつわる天満宮)



菅原道真が藤原時平の讒言により大宰権帥に降格され、昌泰4年(901)、京都から大宰府に配流の折りに船が難破し、高塚の浜に漂着した。この時地元の人たちが船の綱を円座に敷いて迎えたという故事により、天曆9年(955)、国府の命によって社殿が造営され網敷天満宮と言われるようになった。



ハマ ミヤ カイ ガン
浜の宮海岸 (潮干狩りの
 人気スポット！)



県の自然百選に選ばれた、樹齢300年以上にもなるクロマツ林が続く穏やかで、遠浅に開けた「浜の宮海岸」北九州地域でも指折りの「あさり貝」潮干狩りの人気スポットで、毎年3月~5月にかけてのシーズン中は多くの方が訪れます。

豪雨災害の前兆に注意!!



日頃、目にしているまちの状況や河川等に異常を感じた場合には、速やかに避難行動を取ってください。このとき、むやみに側溝・マンホール及び河川等に近づくことは危険なため、やめましょう。

【河川氾濫】

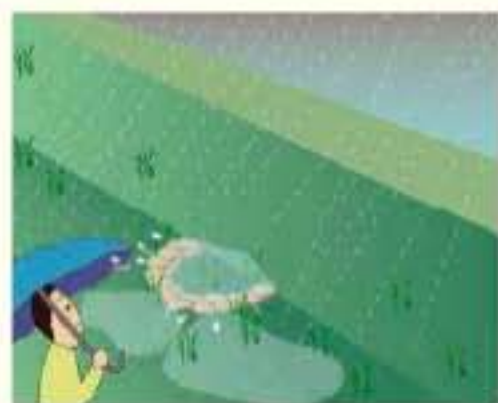
- ・河川水位が高い状態で、さらに強い雨が降っている⇒堤防から河川水が溢れるおそれ
- ・流木や土石等が橋桁に引っかかっている⇒堤防から河川水が溢れるおそれ
- ・堤防や護岸が削られ始める⇒護岸の崩壊や堤防決壊のおそれ
- ・堤防からの漏水、砂の噴きだしが見られる⇒堤防決壊のおそれ
- ・堤防に亀裂が生じ、漏水し始める⇒堤防決壊のおそれ



河川の
増水・流木の
発生



堤防や
護岸の侵食



堤防近辺からの
漏水・噴砂



堤防の
亀裂・漏水

【内水氾濫】

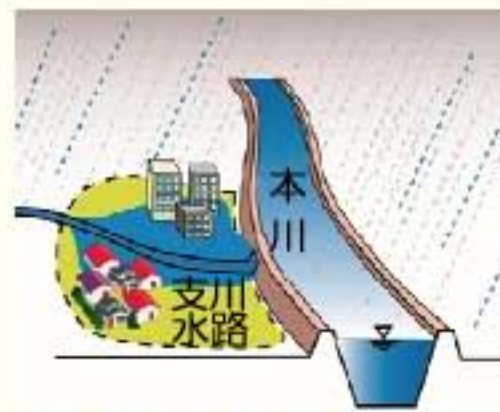
- ・アンダーパス等の低地部が浸水し始める⇒自動車に閉じ込められるおそれ
- ・側溝やマンホールから水が溢れ始める⇒住宅浸水や側溝・マンホールへの転落のおそれ
- ・本川の水位が上昇し、支川へ逆流し始める⇒支川が溢れ、住宅が浸水するおそれ



- ・アンダーパスの浸水
- ・自動車に閉じ込められるおそれ



- ・側溝・マンホールからの溢れだし
- ・住宅浸水や側溝・マンホールへの転落のおそれ



- ・本川の水位の上昇
- ・支川が溢れ、住宅が浸水するおそれ

防災情報を活用しよう!!

インターネットやテレビなどで、気象情報・河川情報・避難情報をチェックできます。

日頃から情報の入手方法を確認し、災害時の避難行動などに活用しましょう!



防災メール・まもるくん登録はこちらから



へいじょう

平常時に確認しておくべき情報源

★ハザードマップ (各市町村)



災害のおそれがある区域や避難所の位置等を表示した地図です

★福岡県避難支援マップ



【<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/shienmap/>】

県内の避難所をインターネットの地図上で確認できるサイトです



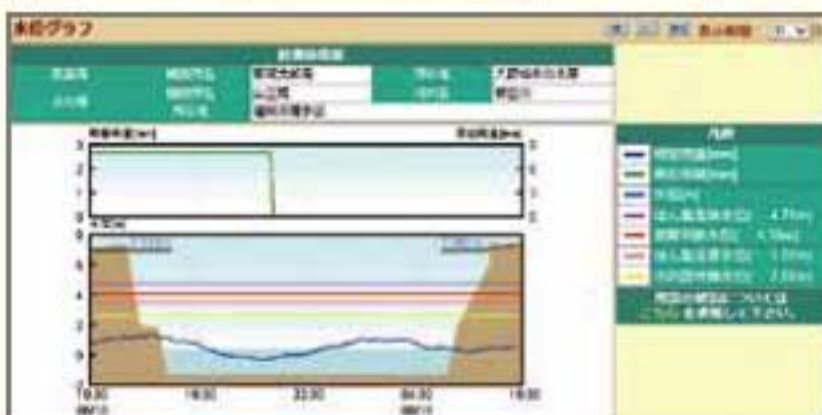
ごう

豪雨時に活用できる情報源

★インターネットから

【福岡県 河川防災情報】

県内の雨量や河川水位の情報、河川監視カメラの画像など、河川に関する防災情報を確認できます



★テレビから

テレビの地上デジタル放送でも、河川水位や雨量の情報を確認できます



〈使い方〉

- ① リモコンの d ボタンでデータ放送画面を表示
- ② 上下左右ボタンで見たい観測所を選択して表示

平常時・豪雨時問わず活用できる情報源

★福岡県防災ホームページ 【<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php>】

福岡県内の防災に役立つ様々な情報を確認できます。

★防災メール・まもるくん 【<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/mamorukun/service.html>】

県内の河川の水位情報、気象情報、その他様々な防災情報をメールでお知らせします。

安全に

楽しく川で



遊ぼう!!

昨年、朝倉地域を中心に甚大な被害をもたらした平成29年7月九州北部豪雨をはじめ、近年、局地的豪雨による水害が発生しており、水難事故も全国各地で報告されています。本来、川は、学び行動する場として非常に優れていますが、その一方で、急な川の増水など危険が潜んでいます。このような川を安全に利用していただくために、福岡県では、平成21年度より毎年、子どもを対象とした「ふくおか水辺の安全講座」を開催しています。今年度も引き続き開催する予定ですので、詳細な内容が決まり次第、福岡県県土整備部河川整備課のホームページで募集のお知らせをいたします。

平成29年度の開催状況

昨年は7月から8月にかけて、6箇所
「ふくおか水辺の安全講座」を開催しました。



No.	開催日	曜日	河川名	施設	市町村名
1	H29.7.31	月曜	釣川	玄海 B&G 海洋センター	宗像市
2	H29.8.1	火曜	矢部川	黒木西小学校	八女市
3	H29.8.2	水曜	紫川	今町小学校	北九州市
4	H29.8.6	日曜	宝満川	小郡市野球場	小郡市
5	H29.8.7	月曜	那珂川	横手中学校	福岡市
6	H29.8.8	火曜	祓川	祓郷小学校	みやこ町

開催講座の紹介

施設内では、ビデオ映像を用いて水辺の危険箇所などを学習し、屋外では、実際に川の中に入っての生物調査やカヌー乗船、ライフジャケットの着用やレスキューロープ投げなど体験しました。



ライフジャケットの着用や
レスキューロープ投げ

水辺の危険箇所などを
ビデオ学習

カヌー乗船



第1回

平成30年度

福岡県災害復旧実務講習会の報告

日時 平成30年4月20日(金) 10:00~16:15

場所 (公財)福岡県建設技術情報センター3階 大研修室



平成30年度福岡県災害復旧実務講習会(第1回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県内市町村及び県土整備事務所から昨年度を上回る113名に参加いただきました。

本講習会は、適正かつ迅速な災害復旧事業を推進するため、災害復旧の実務を行う担当者を対象に、年2回開催しています。

第1回となる今回の講習会では、冒頭で、「平成29年災害査定総括」として、平成29年7月九州北部豪雨災害の被害状況について報告しました。

次に、災害復旧事業の基本原則や事務手続きについて講義し、災害の発生後、速やかに実施すべき措置や被害報告の流れ等について説明を行いました。

また、国土交通省水管理・国土保全局防災課の喜元災害査定官、財務省福岡財務支局の本多主計実地監査官を講師としてお招きし、全国の事例を使って災害査定時に申請者として気を付けるポイントをわかりやすく解説していただき、大変有意義なものとなりました。

本講習会では災害復旧事業の初任者から経験者まで幅広い方々に参加していただきました。災害は突発的なものであり、いつどこで発生してもおかしくありません。そのため、日頃から災害に対して準備しておくことが重要です。次回の講習会も参加者がスキルアップできるように企画してまいりますので、多くの方の参加をお待ちしております。

【受講した方々からの感想】

- ・実際の査定事例を交えての説明は非常にわかりやすく勉強になりました。
- ・カラー写真や資料を使い、わかりやすく説明をいただき良かったです。

国土交通省水管理・国土保全局防災課

喜元
災害査定官



福岡財務支局
理財部主計課

本多
主計実地監査官



平成30年度 福岡県災害復旧実務講習会 (第1回)プログラム

- 1 開会挨拶
- 2 災害査定留意事項について
- 3 平成29年災害査定総括
- 4 災害復旧事業の基本原則について
- 5 災害復旧事業の実務について
- 6 災害報告・目論見書の作成について(災害復旧管理システム)
- 7 防災エキスパート会の活動について
- 8 わかりやすい災害復旧事業
- 9 道路災害復旧の留意点について
- 10 河川災害復旧の留意点について
- 11 改良復旧事業について
- 12 平成29年成功認定総括
- 13 質疑応答
- 14 閉会挨拶
- 15 査定官と市町村職員による意見交換

7月は河川 **愛** 護月間です

福岡県では、毎年7月1日から7月31日までを河川愛護月間と定め、各種事業を実施します。

〔 広報活動 〕

① 街頭広報キャンペーン

県内の、福岡・北九州・久留米・飯塚の4つの地域において、街頭でチラシ等を配布、地域のイベントに参加して河川愛護意識の啓発活動を行います。

② 懸垂幕・看板の掲示

県庁や県土整備事務所で懸垂幕や看板を掲示し、住民の方に河川愛護を呼びかけます。

〔 表彰 〕

① 河川功労者の表彰

河川の機能保全、河川愛護等に特に力を尽くし、その功績が顕著な個人並びに団体を表彰します。

② 河川愛護企業の表彰

河川愛護活動が特に顕著であり、他の模範となる優良企業について表彰します。

③ 河川愛護絵画コンクール

河川愛護意識の高揚を図るため、小学校児童による絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰します。

河川愛護月間事業の様子

福岡県庁行政棟にて懸垂幕の掲示



河川愛護活動



河川協会通常総会にて河川功労者の表彰



河川絵画コンクールの実施



河川愛護事業
イメージキャラクター
よみガエルくん

ボクと一緒に
ふくおかの川を
*キレイ*にしよう!!

河川愛護活動への参加を お願いいたします

自分の住む街のかわを
もっと元気に!!

【河川愛護団体】

- ① 県管理河川であること
- ② 会員数が25名以上
- ③ 年間2回以上の活動
- ④ 左右岸合計で活動区間が250m以上
- ⑤ 除草・清掃等の活動を行うこと

【河川愛護活動とは?】

活動区間を決めて支援制度に登録していただき、福岡県から支援を受けながら、除草・清掃などの活動を行うものです。

※既に活動してある河川愛護団体・企業の区間とは重複登録が出来ませんのでご注意ください。

【河川愛護企業 (アダプト企業)】

- ① 個人事業主を除く企業等であること(企業には一般の企業に加え、農協や漁協などの組合、その他団体を含みます。)
- ② 県管理河川で活動すること。
- ③ 左右岸合計250m以上を活動すること
- ④ 年間2回以上の活動を実施すること
- ⑤ 除草・清掃活動を行うこと(活動内容に必ず除草を記載して下さい)

【河川愛護支援企業 (アシスト企業)】

- ① 河川愛護団体・企業が活動している県管理河川を支援対象とすること。(複数河川可)
- ② 整地・伐木・抜根等の活動を行うこと

支援内容

河川愛護企業(アダプト企業)

- ① 需用品の支給
(予算の範囲内で、軍手や鎌等、活動に必要なものを支給します。)
- ② 傷害・賠償責任保険の加入
(但し、保険の対象外となる場合があります。)
- ③ アダプトサインの設置
(活動区間が500m以上企業に限る)
- ④ 自走式草刈機の貸し出し

河川愛護支援企業(アシスト企業)

- ① 傷害・賠償責任保険の加入
(但し、保険の対象外となる場合があります。)
- ※アダプト企業・アシスト企業は競争入札参加資格に
おける地域貢献活動評価の対象になります。

河川愛護団体

- ① 報償費の支給(1団体につき年間5万円)
- ② 需用品の支給(1団体につき年間2万円)
- ③ 傷害、賠償責任保険の加入
(但し、保険の対象外となる場合があります。)
- ④ アダプトサインの設置
(登録が500m以上の団体に限る)
- ⑤ 自走式草刈機の貸し出し

登録や、詳細については
HPをのぞいてみてね!

[QRコードはこちら]



福岡県 河川愛護活動

検索

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kasenaigo.html>

ふくおかの身近な川と さかなを知らう!!

No. 43

おに くら
のり 倉
徳 雄



有明海沿岸域のクリーク網は日本の宝【Part 1】

前 回に引き続き、WWF ジャパンとの共同研究、有明海沿岸域のクリーク網のお話です。昔々、大学院生時代、当時の研究フィールドが佐賀県鹿島市だったので、有明海方面は車で幾度も走りました。当時は道の駅やコンビニが少なかったため、休憩場所は佐賀県内の低平地のクリーク網！クリーク沿いに車を止め、水路をのぞき込むと、そこには無数の魚が…。どちらかといえば濁っているけれど、それでも婚姻色で真っ赤に染まったタナゴたちの群泳の様子が一目瞭然。そして、ちょっとしたガサガサで、魚の種類を確認。それが当時の私のドライブ中の休憩でした。そんなわけで、昔からクリークの生物多様性の良さには気が付いていたので、平成16年に九大に赴任して以来、様々な魚類の調査・研究を行ってきました。そして、その中で、この地域のクリーク網は日本の宝であると確信！でも、その理由は“希少魚が多い”とかだけではありません。他の地域では見ることができない素晴らしい魅力が、そこには存在するのです。

ま ず、クリーク網の複雑さ。私の試算では、日本一です。その複雑さを点数化してみました。その方法は、次の通りです。まず、この地域にランダムな点を発生させて、その半径 1km² の円内の T 字、十字の水路接続数を数えます。そ



して、T 字の接続を 0.5 点、十字の接続を 1 点として、合計を算出します。棒グラフをご覧ください (地域番号は水路の複雑さを調べた地域マップでご確認を)。なんと、柳川市周辺の平均値は 20 点を超えている！佐賀平野では 15 点越え！日本の他の地域でも同様に計算すると、高い地域 (徳島・濃尾平野) でも 10 には届かない。有明海・八代海沿岸を除くと、調べたすべての地域で 1 桁でした。みなさん、なかなかイメージが難しいと



福岡県大木町地図から抜粋
(一片は約 1km)



左図・赤丸部分の風景写真

思いますので、福岡県大木町内の 1km 四方の地図 (水路のみ) を掲載しておきます。図の赤丸の部分の風景写真も付けておきます。

な ぜ、この地域のクリーク網は、日本一の複雑さを持つのでしょうか？それは、有明海が日本最大の潮汐差を持つことに関係します。その潮汐差は最大 6 m で、満潮時には河川に大量の海水が逆流してきます。農業用水に塩水が混ざると、農作物が育ちません。そのため、農地で淡水を確保するために、先人たちは知恵を絞り、クリーク網を発達させました。塩水の及ばない河川の上の方から淡水を取水し、下流の農地に流す仕組みを構築すると同時に、水の無駄をなくすため、水を貯えながら再循環させる仕組みを発達させました。また、今では見られなくなった“あお取水”。塩水が遡上してくる河川下流域で、満潮時の河川の上水を取水し、それを貯水して塩水を薄めたり、沈めたりして利用する仕組みを導入しました。そして、遠浅な干潟を干拓して農地を広げ、またまた水路網を張り巡らせて、を繰り返してきました。水面の割合が高いところでは、耕地面積に対して 15 % を超えるほど！他地域で見ることができないクリーク網の複雑さと水面の広さは、有明海沿岸域だからこそ！そして、そこには先人たちの優れた知恵と暮らしが…。

こ ういった話を聞いたとき、みなさんはこの地域のクリーク網に、歴史的・文化的価値を感じませんか？このような価値を、実は文化庁も高く評価しております。平成 15 年に文化庁が発行した月間文化財の中に、「農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究 (報告) について」という記事があります (文化庁の HP にも PDF 版が掲載中)。そして、その中で重要地域として「柳川」、「佐賀平野の掘割」、「有明海の干拓」、「八代干拓の景観」などが取り上げられて

います。つまり、文化庁もこの地域の干拓の歴史とそれに伴う水路網の発達を、次世代につなぐべき文化的景観として高く評価しているのです。文化的景観とは、「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地」と文化財保護法の中で書かれています。この文言に、この地を当てはめるなら、「農業を営んできた人々の暮らし、有明海沿岸域独特の風土によって形成された水路網と干拓地」といったところでしょうか。また、初期のパンフレットには、「自然と共生する中で育んできた原風景」との記述がありました。有明海沿岸のクリーク網にたくさんの淡水魚が生息することは、この地域の農業が自然と共生してきた証なのです。そのあたりについては、次号以降のお楽しみということで、まずは、みなさんに、有明海沿岸域には日本一の複雑さを持つ水路網があり、それは地域固有の風土に合わせて先人たちが知恵を絞り、発達させた歴史的・文化的価値の高いものであるということをご理解いただきたい。

な お、クリーク網に関連したいくつかの歴史的遺産は、国の重要文化財などに指定されておりますので、ぜひ、探してみてください。熊本県玉名市の旧干拓施設など、迫力と歴史を感じられます。また、有明海沿岸の幾つかの干潟は、ラムサール条約の登録湿地となっておりますので、将来、堤防の外側はラムサール、内側の干拓地と水路網、そして、そこに生息する希少な魚たちは、文化庁あるいはイコモス (国際記念物遺産会議) からお墨付き、なんて、理想的ですね。希少な生き物の生息で、自然との共生を証明できる今のうちに！

おにくら のりお
鬼倉 徳雄 — NORIO ONIKURA —

- 九州大学大学院農学研究院・准教授
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類学会自然保護委員・学会賞選考委員
- 応用生態工学会評議委員・編集委員

主な著書／

- 生きざまの魚類学 魚の一生を科学する (猿渡敏郎編著)
- 見えない脅威 “国内外来魚” (日本魚類学会自然保護委員会編)

河川協会からのお知らせ

3月にブラジルで開催された第8回世界水フォーラムに参加し、遠賀川での活動等の発表を行った学生メンバー等による「報告書」が発行されました。

参加メンバーの「報告書」はもちろんですが、「遠賀川子ども水フォーラム実行委員会」の坂本委員長の暖かいメッセージもぜひ読んでいただきたいと思います、以下に紹介します。

〔直方川づくり交流会からのメッセージ〕

第8回世界水フォーラムinブラジルに若者を派遣するに当たり、国、県、市の多くの方々のご支援を頂き誠にありがとうございました。ここに厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、若者3名と付添兼通訳の方1名、それに遠賀川育ちの土木研の研究者1名の計5名で団を結成し、ブラジルに派遣することが出来ました。

内うちに3月16日に壮行会を行い、17日に出発、25日に帰国し、27日に報告会を行いました。ブラジルまでの長旅にもかかわらず、元気に無事帰国できてほっといたしました。彼らは直方の代表として、また遠賀川の代表として、本当に頑張ってきました。その奮闘ぶりは本報告書によく表わされています。

それらの結果を踏まえて、彼らは「遠賀ユース宣言」を発表しました。若者は頑張るから、今後も継続して若者の活動を後押しして欲しいと言うことです。

若者が頑張った後は、今度は大人がそれに応える番です。遠賀川流域の地方自治体と住民が一体となって、若者の活動を支援していけば、若者は必ずやそれに応え、さらに発奮することでしょう。これからの新しい地域の在り方のモデルを示唆しているようです。活動する若者の輪がさらに広がって行くことを暖かく見守ってやって下さい。

遠賀川子ども水フォーラム実行委員会
実行委員長 坂本栄治



第8回世界水フォーラム in ブラジル 報告書の表紙写真



発表の様子



日本パビリオン



発表を聴いてくれた学生たちと

〔発行〕 遠賀川流域子ども水フォーラム実行委員会 〔お問い合わせ〕 遠賀川水辺館 0949-22-1810

編集
後記

表紙の写真は、豊前市の岩岳川(いわたけがわ)です。鳥井畑(とりいはた)地区には東屋と水車があります。まわりの田んぼでは、6月初めに田植えが終わっていました。自然と、そして人の働きが調和した風景です。(古賀)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-633-2826(直通)
FAX:092-643-3669
企画 正光印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

